



2021 年度
第 8 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1
殴られていい年齢は
ないが、
殴られていい人も
いない



2
李スクジン
スポーツ倫理センター
理事長辞任...
「調査専門人材不足」



3
国民体育振興公団、
スポーツ産業
コロナ 19 克服のために
総力支援



4
国民体育振興公団、
脆弱階層
スポーツ有望選手の
育成支援



5
大韓ホッケー協会
公正委、剣を抜く...
暴力不条理大々的清算



01 ベビーニュース 2021.03.18

「殴られていい年齢はないが、殴られていい人もいない」



この冬に「プロバレーボール」で始まった「学校暴力」の問題が様々なスポーツ界につながっている。最近スポーツ界の学校暴力が再び水面上に浮上したのは、勢いに乗っていたバレーボールスターが「学校暴力」の加害者として指名されてからであった。ファイティングあふれる姿に実力まで優れて人気を集めてきたバレーボールスターは「学校暴力」を認め、これまで積み重ねてきた名声が一瞬にして崩れたが、社会的公憤はとどまる

ところを知らない雰囲気だ。

以降、様々なスポーツスターが「学校暴力」の加害者に次々に追加で暴露されている。もちろん提起されているすべての内容が事実であるかどうかは誰も分からない。多分嘘の暴露により苦しんでいるスターもいるだろう。

それにもかかわらず確かなことは、いまだにスポーツ界で「学校暴力」が蔓延しているということだ。

「学校暴力」は被害者の人格と魂を荒廃させるほどの重大な犯罪である。特に、「学校暴力」のトラウマは被害者が大人になってまで影響を与える。最近相次いで暴露されている「学校暴力」犯罪も短くは数年、長くは数十年前のことだが、被害者たちはその事件をまるで昨日のことに鮮明に覚えている。それだけ被害者たちはその事件から抜け出せないまま疲弊した生活を続けていることがわかる。特にスポーツ界で発生した「学校暴力」の場合、学生選手の未来と夢も踏みにじってしまうことがあることから、その深刻性が大きいと言えるだろう。学生選手の未来と夢を監督、教師、先輩が担保をとっている場合が多いからである。

これと関連して最近、政府は「学校運動部の暴力根絶とスポーツ人権保護システムの改善案」を発表した。特に今回発表した対策では被害者中心の処理システムの構築、制裁強化などの予防と制度補完、成績至上主義文化の向上と人権意識の向上など具体的な対策を講じており、学校運動部の学校暴力根絶のための政府の意志を垣間見ることができと言えるだろう。

しかし、これらの対策よりも先に、私たちの社会が「学生選手をどのように見ているかを振り返らなければならない。多分私たちの社会は学生選手を「学生」よりは「スポーツ選手」と見る傾向が大きかったのではないだろうか。運動選手であるため、ある程度の「暴力」は甘受しなければならないという考えをしていなかったか、試合の成績やメダル色の色のためには「暴力」が不可欠であるという危険な考えをしていなかったか、振り返って反省すべきである。

明白な事実「学生選手」は「運動選手」である前に学生であり、児童ということだ。誰にも「運動選手」という夢に向かって進む児童に「暴力」を使っても良いと許諾しなかった。すべての児童は尊く尊厳な存在であり、権利の主体であることを忘れてはならない。さらに、社会は子供が暴力から保護されるようにする義務を負っていることを忘れてはいけない。

昨年、グッドネイバーズでは、国会でいくつかの児童団体と一緒に「民法 915 条懲戒権の削除のための記者会見」を行なった。その際、児童の代表として参加した 9 歳のイム・ハンウル君の発言をすべてのスポーツ界従事者と「学校運動部」に関連する人々が耳を傾けることを望む。

「この世に殴られてもいい年齢はありません。殴られてもいい人はさらにいません。」

*コラムニスト、高ワンソクは 9 歳の娘、5 歳の息子のいるごく普通のお父さんである。国際救護開発 NGO であるグッドネイバーズから 15 年目勤務しており、現在はグッドネイバーズ児童の権利擁護チーム長として働いている。

出典：<https://www.ibabynews.com/news/articleView.html?idxno=93577>

02 SBS NEWS 2021.03.19

李スクジンスポーツ倫理センター理事長辞任...「調査専門人材不足」



根の深いスポーツ不正根絶のために政府が発足したスポーツ倫理センター初代理事長がセンターの調査専門人材不足の問題を指摘し就任半年で職を退いた。

スポーツ倫理センターは李スクジン理事長が 19 日、辞任したと明らかにした。

昨年 8 月 5 日、センター発足とともに就任してから 7 ヶ月ぶりです。

李理事長は辞任の辞で「センターはスポーツを愛するすべての国民とスポーツ選手の期待と将来の希望を解決するには非常に不十分な構造的な問題を抱えて発足した」とし、「(発足当時)センターの中心業務である調査に関連の経験がある経歴職はチーム長以下の人材で 2 人に過ぎず、大多数の人員はビジネス、行政、広報キャリア職員だった」と言いました。

また「(政府は)スポーツ界に蔓延した暴力、性暴力事件への対策の一環として(センター)の発足を急いだが、センターが必要とする人材の正確な職務分析とそれに基づいた採用が並行されなかった」と指摘しました。

続いて「センターの基本的責務とこれを行う調査人材の不一致は、センターの業務の持続可能性を難しくしている」とし“スポーツ学校暴力ミートゥー”が社会問題化して申告事件が積もってきており、難しさが増幅されている」と言いました。

李理事長は「経歴ある調査専門人材の確保と組織改編、特別司法警察官制度の導入など特段の対策がなければならぬ」とし「センターが名実共に準司法的機関としてしっかりとした役割を果たせるようにしなければならぬ」と促しました。

出典：https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1006248580&plink=ORI&cooper=NAVER

03 グローバル経済新聞 2021.03.18

国民体育振興公団、スポーツ産業コロナ 19 克服のために総力支援



国民体育振興公団（理事長チョ・ヒョンジェ）はスポーツ産業全方位支援のためのコロナ 19 危機克服支援推進団（以下推進団）を新設したと 18 日明らかにした。

推進団はチョ・ヒョンジェ理事長を団長とし、計 4 班（総括班、被害克服支援班、体育施設安全管理支援班、資金調達の共存協力支援班）で構成され、現場中心の迅速な意思決定のために各班の班長は事業本

部長が遂行する。

公団は今回の支援事業のために 1241 億ウォンの予算を確保し、コロナ 19 長期化による被害企業支援、施設の安全性と防疫対応、小商工人と利害関係者のための支援に総力を傾ける方針だ。

詳細支援策としては、▲スポーツ企業ワンストップ金融支援▲スポーツ中小企業の事業資金支援▲新成長動力を確保するための非対面のスポーツコーチング市場の活性化支援▲コロナ 19 により廃業したスポーツ企業回復支援▲室内体育施設指導者の雇用安定化を支援などがある。

チョ・ヒョンジェ理事長は「公団がスポーツ界コロナ 19 危機克服の先鋒としての役割を遂行するために従業員と一緒に力を集中して現場中心の支援策を確認し、改善していく計画だ」と明らかにした。

一方、昨年に公団はコロナ 19 で困難を経験しているスポーツ企業向け金融支援（1261 億ウォン）、共生協力のための小商工人賃貸料の減免（85 の入居企業、13 億 5000 万ウォン）、スポーツ施設特別防疫検査（国家体育施設 87 ヶ所、危険度が高い施設 220 カ所）の実施など、多角的な対国民支援を広げている。

出典：<https://www.getnews.co.kr/news/articleView.html?idxno=521006>

04 聯合ニュース 2021.03.16

国民体育振興公団、脆弱階層スポーツ有望選手の育成支援

国民体育振興公団は文化体育観光部と 2021 年体育人材奨学支援事業を施行すると 16 日明らかにした。

体育人材奨学支援事業は経済的困難がある小・中・高等学校の学生選手が可能性を広げられるよう支援する事業である。

今年各市・道教育庁の審査を経て、1350 人の奨学生を選抜する予定である。

選定された学生は今年 5 月から来年 2 月までに 10 ヶ月間、毎月の奨学金カードにポイント（40 万ウォン相当）を受け取る。

奨学金のポイントはスポーツと学業活動に限り自由に使うことができる。

申請資格は法定低所得世帯（基礎生活保障受給世帯と次上位、ひとり親家族）に該当し、大韓体育会正会員と大韓障害者体育会正加盟・類型体育団体種目に 2021 年度選手登録がされた全国の小・中・高学生選手である。

現在在学中の学校を通して申請する。

詳細については国民体育振興公団のホームページ（kspo.or.kr）または体育振興チーム（☎02-410-1297）を介して確認することができる。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20210316059500007?input=1195m>

大韓ホッケー協会「公正委」剣を抜く... 「暴力不条理大々的清算」



韓国ホッケー界が指導者の暴行と暴言、契約金恐喝、情報提供者の捜索など、様々な乱脈ぶりを露わにしている中で大々的な内部改革を宣言した大韓ホッケー協会が本格対応に乗り出す。

大韓ホッケー協会は18日、ソウル松坡区ホッケー協会会議室でスポーツ公正委員会を開き、加害容疑者の懲戒を議論する。

先月20日に開かれた理事会で団体設立以来初めてのスポーツ倫理担当副会長職を新設した。また、客観性と公正性を担保するた

めに公正委員全員を非ホッケー人で構成した。

大韓ホッケー協会の李サンヒョン会長は「暴力と不公正の問題はホッケー人だけの問題ではなく、社会の隅々に広がっている深刻な問題」とし、自分も非ホッケー人出身であるだけに人脈にとらわれず、今回の事案に断固として対処するという意志を明らかにした。

スポーツタイム単独報道で数十年間膿んだホッケー界の患部が徐々に明らかになっている。現職実業チーム指導者は過去の大学監督時代に女子選手の契約金を長期にわたって横取りしてまな板の上に上がったし、暴行と暴言、人権侵害も蔓延しているという情報提供者の声が絶えない。

1986年ソウルアジア大会の金メダリストであり現在は実業チームリーダーとして活動中のA監督は、過去金海の某大学で1993年から2019年まで監督を務めた。A監督は実業チームに入団した選手たちの契約金を長期間に渡って横取りした疑惑を受けている。

A監督が大学の監督を務めた時に導かれた女子選手たちは100人を超える。実業チームに入団した選手は少なくとも数十人で選手たちの情報提供が事実で明らかになった場合、被害額は数億ウォンに達すると推定される。

最近、国内スポーツ界の話題として浮上した指導者の選手暴行と人権侵害も例外ではなかった。去る2月、青瓦台国民請願にまで上がってきてスポーツ界を越えて全社会的な注目を集めた。

スポーツタイム報道後、ホッケー界に「暴力ミートゥー」の風が吹いた。女子選手たちが中学時代、指導者の無慈悲な攻撃でうつ病に苦しんで極端な選択まで試みた暴露が出てきた。

情報提供者Bさんはスポーツタイムと電話通話で「2005年から水原にある中学校ホッケーコーチを務めているCコーチに中学生時代に暴言暴行を受けた。その時はもちろん今でもの暴行トラウマに苦しんでいる。罵声は茶飯事であり地下室で足で蹴られて踏まれてスティックで頭を叩かれて。そんな生活が日常だった。暴行に耐えられず運動をやめたいと言うとさらに激しい暴行が行われた」と吐露した。

加害容疑者が報道後、被害者に懐柔と脅迫の発言を加えたことがさらに確認され衝撃を与えたりもした。

自身をA監督が指導した、金海の大学ホッケー部出身と明らかにしたD氏は「最近、スポテレビニュース記事が報道された後、大学時代Eコーチから連絡が来て“確認書”を書いてほしいという要請を受けた」と情報提供した。

D氏によると、Eコーチは選手から取り立てた契約金を個人用途で使ったのではないホッケー部専用バスや新入生に支給する機器の購入などに使ったので問題がないということを示す確認書にサインを要請した。

しかし、D氏は、「確認書に盛り込まれた詳細については一切説明なしに（やみくもに）サインしろと言った。サインしたくなかったが（Eコーチの）顔つきがサインしなければならない雰囲気だった。他の選手

たちの言葉を聞いてみると皆、半強制的にサインしたという。住民登録証裏表の写真まで撮って行った」と説明した。

続いて「A 監督が実業チームの監督として移籍するとき「バスは E コーチの退職金で買う」と言ったことがあります。そのバスは当時の親 14~15 人が 100 万ウォンずつ出して買ったバスだ。当時間も退職金でバスを持っていくわけではないと思った」と付け加えた。

大韓ホッケー協会はスポーツ公正委で A 監督と C コーチ、E コーチなどの懲戒を議論する。協会は真相調査と事実確認をもとに、その事案に厳正対応するという方針だ。

出典：<http://www.spotvnews.co.kr/?mod=news&act=articleView&idxno=409944>

06 週間スポーツ関連ニュース

16兆捨てオリンピック選んだ... 海外の観客放棄、日本菅の賭け

<https://news.join.com/article/24016603>

海外の観客諦めた東京オリンピック... チケット 63 万枚の払い戻しの見通し

<http://news.kmib.co.kr/article/view.asp?arcid=0015654016&code=61131211&cp=nv>

李ヨンハ「団体行動させたことはあるが特定の人へ苛酷な行為はなかった」

<http://news.kmib.co.kr/article/view.asp?arcid=0015648294&code=61161211&cp=nv>

全北スポーツ科学センターの選手密着支援

<http://www.domin.co.kr/news/articleView.html?idxno=1333224>

韓国ブランドが強くなってこそ良い仕事がたくさん生まれる

http://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202103210652003&sec_id=530101&pt=nv

遼遠だった韓日関係の改善... スポーツで扉？

<https://www.news1.kr/articles/?4247119>

三ヶ月間 13 億ウォンの賭け... 「不法スポーツト」30 代男、2 審で有罪

<https://www.edaily.co.kr/news/read?newsId=02879846628984960&mediaCodeNo=257&OutLnkChk=Y>

楊口郡の力点事業「スポーツマーケティング」... 監視の死角

<http://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=5143479&ref=A>

朴ジョン、5 年ごとのスポーツ振興基本計画策定「スポーツ基本法案」発議

<http://www.joongboo.com/news/articleView.html?idxno=363477963>

「広文高サッカークラブ」発の集団感染で全国スポーツクラブ全数点検

<https://www.news1.kr/articles/?4243907>

SOK・国家代表選手協会、発達障害者スポーツの発展につながる

<https://news.mt.co.kr/mtview.php?no=2021031810295172682>

慶尚南道、「慶南スポーツ人権侵害申告センター」運営

https://newsis.com/view/?id=NISX20210316_0001372043&cID=10812&pID=10800

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

http://www.sportscm.org/index.php?module=Inquiry&action=SiteInquiry&sMode=INSERT_FORM&inquiryNo=2

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com